

令和3年9月22日

環境大臣 小泉 進次郎 様

自民党総合エネルギー戦略調査会
会長代理 衆議院議員 山本 拓

小泉環境大臣への公開質問の送付について

(1) 現在の化石燃料発電量を全て太陽光発電で賄うのに必要な設備面積は東京ドーム約13万個分です

2019年の国内の総発電量は10,240億kWhで、内訳は以下のとおりです。

【内訳】	再生可能エネルギー	1,843億kWh	(18%)
	化石	7,782億kWh	(76%)
	原子力	614億kWh	(6%)

仮に太陽光発電だけで2019年現在の化石燃料による発電分(7,782億kWh)全てを置き換えた場合は、全国に東京ドーム約13万個分の面積の太陽光発電設備(620GW)が必要となります。

なお、一般財団法人再生可能エネルギー保全技術協会の筒井信雄理事長によると、それらの設置には約93兆円(15万円/kW×620GW)が必要になるとのことです(土地代等は含まない)。

当方の試算に対し、小泉環境大臣の見解をお示しくください。

(2) 小泉環境大臣が自民党総裁選挙の特定候補へ越権介入するならば自らの見解をまず示してください

文部科学省の国立研究開発法人科学技術振興機構低炭素社会戦略センターが発表した2050年のIT関連消費電力予測176,200TWh/年[※]を仮に太陽光発電だけで賄おうとすると、東京ドーム約2,940万個分の設備面積が必要となります。

この点については、もちろん太陽光発電のみならず他の再生可能エネルギーで賄うとお考えかと思いますが、小泉環境大臣の見解をお示しくください。

※ 国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター『情報化社会の進展がエネルギー消費に与える影響 (Vol.1) -IT機器の消費電力の現状と将来予測-』(2019年3月)

以上